

【資料】

令和7年6月2日（月）

第1回（資料）韮崎市立小、中学校適正規模・適正配置検討委員会

韮崎市立小、中学校適正規模・適正配置検討委員会 委員名簿

(任期：令和7年6月2日～令和9年6月1日)

No.	役職	選出区分	氏名	所属
1		学識経験者	清水 宏幸	山梨大学 教育学部教授
2		学識経験者	飯野 直人	元教育委員
3		学校運営協議会	横内 郷志	韮崎小学校
4		学校運営協議会	保坂 耕	穂坂小学校
5		学校運営協議会	松永 辰美	韮崎北西小学校
6		学校運営協議会	星 ひろ美	甘利小学校
7		学校運営協議会	山本 政広	韮崎西中学校
8		保護者の代表	塚田 浩	韮崎市PTA連合会 会長 韮崎東中学校
9		保護者の代表	輿石 麻美	韮崎市PTA連合会 副会長 韮崎北東小学校
10		校長会	萩原 長人	韮崎東中学校 校長
11		校長会	作地 秀二	韮崎小学校 校長
12		地域住民代表	根岸 利文	韮崎市地区長連合会 会長
13		子育て団体代表	内藤 香織	NPO法人子育て支援センター ちびっこはうす理事長
14		スポーツ団体代表	金丸 光太郎	韮崎市スポーツ協会 会長

韮崎市教育委員会 事務局職員名簿

令和7年6月2日現在

No.		氏名	所属
1		望月 和明	教育課長
2		川端 純一	教育課 学校教育担当 指導主事
3		秋山 陽一郎	教育課 学校教育担当
4		若尾 幸佑	教育課 学校教育担当
5		河西 慶仁	教育課 学校教育担当

韮崎市立小、中学校適正規模・適正配置検討委員会要綱

(設置)

第1条 韮崎市立小、中学校設置条例（昭和39年4月韮崎市条例第45号）に規定する小学校及び中学校（次条及び第3条において「小、中学校」という。）におけるより良い教育環境の整備と充実した学校教育の実現のため、韮崎市立小、中学校適正規模・適正配置検討委員会（以下「委員会」という。）を置く。

(所掌事務)

第2条 委員会の所掌事務は、次に掲げるとおりとする。

- (1) 小、中学校の適正な規模に関すること。
- (2) 小、中学校の適正な配置及び通学区域に関すること。
- (3) 前2号に掲げるもののほか、教育委員会が必要と認めること。

(組織)

第3条 委員会は、委員15人以内をもって組織する。

2 委員は、次に掲げる者のうちから、教育委員会が委嘱し、又は任命する。

- (1) 学識経験を有する者
- (2) 学校運営協議会（地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第47条の5の規定により小、中学校に置くものをいう。）の委員
- (3) 小、中学校に在籍する児童又は生徒の保護者を代表する者
- (4) 小、中学校の校長
- (5) その他教育委員会が適当と認める者

(任期)

第4条 委員の任期は、2年とする。ただし、再任を妨げない。

2 委員が欠けた場合における補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(委員長及び副委員長)

第5条 委員会に、委員長及び副委員長を各1人置く。

2 委員長は、委員の互選によりこれを定め、副委員長は、委員のうちから委員長が指名する。

3 委員長は、委員会を代表し、会務を総理する。

4 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるとき、又は委員長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第6条 委員会は、委員長が招集し、その議長となる。

2 委員会は、委員の過半数が出席しなければ会議を開くことができない。

3 会議の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

4 委員会は、必要があると認めるときは、委員以外の者の出席を求め、その意見を聴き、又は資料の提出を求めることができる。

(庶務)

第7条 委員会の庶務は、教育課において処理する。

(補則)

第8条 この告示に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員長が委員会に諮って定める。

附 則

(施行期日)

1 この告示は、令和7年4月1日から施行する。

(会議招集の特例)

2 第6条第1項の規定にかかわらず、委員長を定める前に招集する会議は、教育委員会が招集する。

韮崎市立小、中学校適正規模・適正配置検討委員会での審議内容と進め方について

本検討委員会は、要綱第1条及び2条に記載されているとおり、本市小、中学校におけるより良い教育環境の整備と充実した学校教育の実現のため、適正な規模等を検討するために設置するものです。

また、主な審議項目は、次の3項目になります。

1 小、中学校の適正な規模に関すること。

全国的に少子化が進んでいるなか、本市の小、中学数においても児童・生徒数が減少し続け、今後も減少傾向が見込まれることから、本市小、中学校の学校規模について、子どもたちにとって、より良い教育環境や充実した学校教育を推進するためには、どのような学校規模が適正で望ましいか審議します。

2 小、中学校の適正な配置及び通学区域に関すること。

適正な学校規模を実現するには、どのような学校配置が望ましいか審議し、検討にあたっては、通学区域についても審議します。

3 上記のほか、教育委員会が必要と認めること。

1・2で審議した適正規模・適正配置を実現するにあたり、必要な施策等について審議します。

以上の項目について審議いただき、令和7年度末を目途に、答申書（中間報告）を作成、令和8年度末を目途に、適正規模・適正配置を実現するにあたり、必要な施策等について、答申書を教育委員会へ提出します。

教育委員会では、提出された答申書を尊重する中で、内容について審議や議論のうえ、適正規模・適正配置を実現するための施策等について、市長に報告し、承認を受けて進めていくこととなります。

【令和7年度の開催内容（案）】

◇ 第2回 7月下旬～8月上旬

- ・国や県における適正規模の考え方について
- ・本市における適正規模を検討する際の課題について
- ・アンケート結果について

◇ 第3回 上記に係る意見集約のうえ、考え方等の（案）を書面送付

◇ 第4回 11月

- ・本市における適正規模の考え方や適正配置（案）について

◇ 第5回 2月～3月

- ・本市における適正規模の考え方や適正配置について
- ・令和8年度の方針等について

市内小、中学校の現状について

1. 小、中学校の設置状況

市内には、小学校5校と中学校2校が設置されています。

学校名（所在地等）	通学区域
韮崎小学校（本町二丁目）	中央町、本町一丁目、本町二丁目、本町三丁目、本町四丁目、水神一丁目、水神二丁目、富士見ヶ丘一丁目、富士見ヶ丘二丁目、栄一丁目、栄二丁目、若宮一丁目、若宮二丁目、若宮三丁目、富士見一丁目、富士見二丁目、富士見三丁目、中島一丁目、中島二丁目、一ツ谷、岩下（岩根区域を除く）、上ノ山全域
穂坂小学校（穂坂町宮久保）	穂坂町全域より日之城、上の原区域を除外する
韮崎北東小学校（藤井町駒井） ＊スクールバス運行	藤井、中田、穴山（三ツ石区域を除く）全域に穂坂町日之城、上の原、岩下（岩根区域）を含む
韮崎北西小学校（清哲町青木） ＊スクールバス運行	円野町、清哲町、神山町、上祖母石、下祖母石全域に穴山町三ツ石区域を含む
甘利小学校（大草町上條東割）	旭、大草、竜岡の各町全域
韮崎西中学校（神山町鍋山）	上祖母石、下祖母石、穴山町三ツ石区域、円野町、清哲町、神山町、旭町、大草町、竜岡町全域
韮崎東中学校（藤井町南下條）	中央町、本町一丁目、本町二丁目、本町三丁目、本町四丁目、水神一丁目、水神二丁目、富士見ヶ丘一丁目、富士見ヶ丘二丁目、栄一丁目、栄二丁目、若宮一丁目、若宮二丁目、若宮三丁目、富士見一丁目、富士見二丁目、富士見三丁目、中島一丁目、中島二丁目、一ツ谷、岩下、上ノ山、穂坂町、藤井町、中田町、穴山町（三ツ石区域を除く）全域

2. 児童・生徒数【詳細は、別紙参照】

20年前の平成17年の小学校の児童数は2,138人、中学校の生徒数は1,102人であり、現在、令和7年5月1日の児童数は1,105人、生徒数は615人です。

比較すると、児童は1,033人の減少（△52%）、生徒は487人の減少（△56%）となっており、今後も減少していくことが推計されます。

（単位：人）

区分	平成17年度	平成27年度	令和7年度	令和14年度
児童数	2,138	1,582	1,105	735
生徒数	1,102	856	615	518
合計	3,240	2,438	1,720	1,253

3. 学級編制

学級編制については、公立義務教育諸学校の学級編制及び教職員定数の標準に関する法律（令和3年改正法）において、国では、小学校の同学年の児童で編制する学級に係る1学級の児童数の標準を35人、中学校においては40人としています。

また、山梨県公立小学校及び中学校の学級編制の基準等に関する規則では、小学校で35人、中学校で40人としていますが、少人数教育推進の方向性から、小学校1年生から4年生までは25人、5年生は30人、6年生は35人、中学校では35人学級編制（条件あり「はぐくみプラン」）を認めています。

複式学級については、上記法律及び規則において、小学校にあっては、国の基準では隣り合う学年の児童が合わせて16人以下（1年生を含む場合は8人以下）、山梨県では、12人以下（1年生は解消、飛び学級はしない）。中学校にあっては、国の基準では8人以下、山梨県では複式学級はしないこととなっています。

【1学級の児童数】

区分	学年	国	県	
			令和7年度	※推移使用
小学校	1年	35	25	25
	2年	35	25	25
	3年	35	25	25
	4年	35	25	25
	5年	35	30	30
	6年	35	35	30
中学校	1年	40	35	35
	2年	40	35	35
	3年	40	35	35

【県の学級編制（抜粋）】

○小1～4

児童数	国	県
1～35	1	1
36～50	2	2
51～70	2	3
71～75	3	3
76～100	3	4

小5

児童数	国	県
1～35	1	1
36～60	2	2
61～70	2	3
71～90	3	3
91～105	3	4

小6

児童数	国	県
1～35	1	1
36～70	2	2
71～105	3	3
106～140	4	4
141～	5	5

○中学生

生徒数	国	県
41～70	2	2
71～80	2	3
81～105	3	3
106～120	3	4
121～140	4	4

【複式学級】

区分	国	県
小学校	隣り合う学年16人 （1年生を含む場合は8人）	隣り合う学年12人 （1年生は解消）
中学校	隣り合う学年 8人	解消

4. 学校における現状と課題

(1) 児童・生徒

①穂坂小学校、葦崎北西小学校

【長所】・一人ひとりの様子が把握しやすく、個に応じた指導や寄り添った指導ができる。

- ・異学年での交流を活発に行うことができる。
- ・家庭とも連携しやすい。

【短所】・友達関係が固定化しやすく、トラブル等が起きた場合に関係修復に時間を要する。

- ・合唱やボールゲームなどの活動に支障がでる。
- ・年齢構成や男女比について偏りがでる場合がある。

②葦崎小学校、葦崎北東小学校、甘利小学校、葦崎西中学校、葦崎東中学校

【長所】・多くの友達と出会う機会があり、性格や趣味の合う友達を見つけやすい。また、クラス替えをとおして、様々な価値観や意見に触れることで、視野が広がり、人間関係を築く力が育まれる。

- ・グループ学習や習熟度別学習など、多様な学習指導形態を取りやすい。
- ・運動会や音楽会などの行事が大人気で盛り上がり、活気に満ち溢れる。

【短所】・一人ひとりに対して、きめ細やかな指導や目配りが難しくなる場合がある。

- ・人数が多いため、クラスや学年を超えた交流が少なくなる。

(2) 教職員

①穂坂小学校、葦崎北西小学校

【長所】・確認や周知を行いやすく、協力して仕事に取り組むことができる。

【短所】・学校規模によって、分掌や校務が増えたり減ったりするわけではないため、職員一人ひとりが抱える仕事量（分掌・会議・調査など）が増えてしまう。

- ・複式学級では、人数が少ないので大丈夫と思われがちであるが、二学年の学習内容を同時進行する場合はかなりの労力を必要とする。

②葦崎小学校、葦崎北東小学校、甘利小学校、葦崎西中学校、葦崎東中学校

【長所】・配置される職員の数が多く各分掌の仕事が軽減できる。また、それぞれ連携を取りながら業務にあたることができる。

【短所】・教職員数が多いため、情報伝達や意思疎通に時間がかかることがある。

(3) その他

①穂坂小学校、葦崎北西小学校

【長所】・保健室来室の一人ひとりにかける時間にゆとりがある。

【短所】・蔵書を構築することが難しく、1つの分野に複数の出版社の資料を揃えることが困難である。

②葦崎小学校、葦崎北東小学校、甘利小学校、葦崎西中学校、葦崎東中学校

【長所】・修学旅行や卒業アルバムなどの高額な支払いについて、安価に抑えられる。

【短所】・保健室来室が休み時間に重なると、ゆっくり時間をかけられない。また、授業に間に合うように処置や判断することが大変になる。

- ・きめ細かいアレルギー食の対応等が難しくなる場合がある。

蕪崎市立小、中学校適正規模・適正配置

アンケート調査

【対象者】

小学校 5年生 6年生

中学校 1年生 2年生 3年生



保護者用



児童・生徒のみなさん向けアンケート

これから、みなさんの学校についてのアンケートをします。正直にこたえてください。

* 必須

1. 問1 あなたが通っている学校を選んでください。*

...

- ☐ 葦崎小学校
- ☐ 穂坂小学校
- ☐ 葦崎北東小学校
- ☐ 葦崎北西小学校
- ☐ 甘利小学校
- ☐ 葦崎西中学校
- ☐ 葦崎東中学校

2. 問2 あなたが通っている学校の良い点について、あてはまるものをすべて選んでください。*

- ☐ 先生がていねいに指導してくれる
- ☐ 他の学年との交流がたくさんできる
- ☐ 発表やグループ活動などで活躍(かつやく)の場が多い
- ☐ 学年や学校全体で仲が良い
- ☐ 保護者や地域(ちいき)の人たちとふれあう場が多い
- ☐ 友だちとの交流が活発である
- ☐ 友だちと競い合ったり協力し合ったりすることができる
- ☐ 運動会や学園祭などの行事がもり上がり、活気がある
- ☐ クラブ、委員会、係活動や部活動の種類がたくさんあり、選ぶことができる
- ☐ その他

3. 問2で「その他」を選んだ人に聞きます。その他の内容を教えてください。

4. 問4 あなたが通っている学校の課題と思う点について、あてはまるものをすべて選んでください。 *

- ☐ クラス替(か)えができない
- ☐ いろんな人の意見をきくことができない
- ☐ ボールゲームや合唱などの機会が少ない
- ☐ 運動会や学園祭などのイベントの内容が限られる
- ☐ クラブ、委員会、係活動、部活動の種類が限られる
- ☐ 児童会や生徒会、学年などでいろいろな役割をしなければならない
- ☐ 学校行事等において、活躍(かつやく)の場が少ない
- ☐ 他の学年との交流機会が少ない
- ☐ 先生に勉強や生活のことを、しっかり見てもらえない
- ☐ 保護者や地域(ちいき)の人たちとふれあうことが少ない
- ☐ その他

5. 問4で「その他」を選んだ人に聞きます。その他の内容を教えてください。

6. 問5 あなたは1つの学年の学級数は、どのくらいがよいと思いますか *

- ☐ 1つの学年で1学級
- ☐ 1つの学年で2学級
- ☐ 1つの学年で3学級以上
- ☐ わからない

7. 問6 あなたは1つの学級の人数は、どのくらいがよいと思いますか *

- ☐ 1学級10人程度
- ☐ 1学級20人程度
- ☐ 1学級30人程度
- ☐ わからない

保護者様向けアンケート

小中学校の適正規模・適正配置について検討を進めるにあたり、皆様のご意見を伺うためのアンケートです。

* 必須

1. 問1 お子様に通っている学校を選んでください。*

- ☐ 葦崎小学校
- ☐ 穂坂小学校
- ☐ 葦崎北東小学校
- ☐ 葦崎北西小学校
- ☐ 甘利小学校
- ☐ 葦崎西中学校
- ☐ 葦崎東中学校

2. 問2 お子様に通っている学校の良い点について、あてはまるものを全て選んでください。*

- ☐ 先生が一人ひとりの状況を把握し、個々に対応した指導ができています
- ☐ 学年の枠を超えた交流が活発である
- ☐ 発表やグループ活動などで一人ひとりが活躍できる
- ☐ 子供たちの人間関係が親密である
- ☐ PTAや地域が協力的である
- ☐ 友だちとの交流が親密である
- ☐ 団体の中で、切磋琢磨し、主体性や協調性を身につけることができる
- ☐ 運動会や学園祭などの行事が活発である
- ☐ クラブ、委員会、係活動や部活動の選択の幅がある
- ☐ その他

3. 問2で「その他」を選んだ方にお伺いします。その他の内容をお答えください。

保護者様向けアンケート

4. 問4 あなたが通っている学校の課題と思われる点について、あてはまるものを全て選んでください。*

- ☐ 人間関係が固定化する
- ☐ 多様な意見に触れる場や、切磋琢磨する機会に乏しい
- ☐ 運動会や学園祭などの行事での活動の幅が狭い
- ☐ クラブ、委員会、係活動、部活動の種類が限られる
- ☐ PTA等の活動において、保護者の負担が大きい
- ☐ 学校行事等において、活躍の場が少ない
- ☐ 異なる学年との交流の機会が少ない
- ☐ 児童・生徒、一人ひとりに対して教職員の目が行き届かない場合がある
- ☐ 保護者同士や地域との連携が希薄になりがちである
- ☐ その他

5. 問4で「その他」を選んだ方にお伺いします。その他の内容をお答えください。

6. 問5 あなたが考える望ましい学級数についてお答えください。*

- ☐ 1つの学年で1学級
- ☐ 1つの学年で2学級
- ☐ 1つの学年で3学級以上
- ☐ その他

7. 問5で「その他」を選んだ方にお伺いします。その他の内容をお答えください。

8. 問6 あなたが考える望ましい学級の人数についてお答えください。*

- ☐ 1学級10人程度
- ☐ 1学級20人程度
- ☐ 1学級30人程度
- ☐ その他

保護者様向けアンケート

9. 問6で「その他」を選んだ方にお伺いします。その他の内容をお答えください。

このコンテンツは Microsoft によって作成または承認されたものではありません。送信したデータはフォームの所有者に送信されます。

 Microsoft Forms